

平成28年7月1日

従業員各位

総合観光バス株式会社
総合観光株式会社
(株)平成エンタープライズ（東京支）
各統括運行管理者

平成28年度夏の事故防止運動の実施について

標記の件、平成28年度、夏の事故防止運動が実施されます。

梅雨明けも間近、夏本番に向かっていきます子供達は夏休みになり海山川にと外出が増えそれだけ危険も増えるということです。子供を見たら（飛び出す）という危険予知をして安全運行をしてください。又、帰省、行楽等による二輪車・マイカー等車輛・人も大変な混雑渋滞が発生し広い範囲で道路環境の悪化が予想されます。

上記をふまえ、夏の輸送の繁忙期を向かえ旅客輸送の安全を万全に期するため、また事故を未然に防ぐため全従業員に安全運行に関する意識の徹底を図るため、下記のとおり「平成28年度、夏の事故防止運動」を実施致します。

記

1、実施期間

平成28年7月21日（木）～7月31日（日）
実施責任者 代表取締役 高橋弘貴

2、重点実施事項（各詳細は別紙記載）

- ①・子供と高齢者・自転車利用者の事故防止
- ②・二輪車の交通事故防止
- ③・高速道路内の事故防止
- ④・車内事故防止の再徹底（シートベルト着用の推進）
- ⑤・安全対策の再徹底
- ⑥・飲酒運転防止
- ⑦・交差点の事故防止
- ⑧・車庫内での車両の格納

3、車輛の日常点検及び定期点検整備の確実な実施

以上

重点実施事項詳細考察

① 子供と高齢者・自転車利用者の事故防止

- ・子供を見たら飛び出すかもの予測運転の励行。
- ・子供、高齢者の行動特性に配慮した防衛運転。
- ・自転車の側方通過は十分な間隔をとり安全になるまで通過しない

※危険予知を先取りし子供、高齢者・自転車利用者の事故防止に徹底すること。

② 二輪車の交通事故防止

- ・見通しの悪い道路では二輪車が来るかもの予測運転を厳守する。
- ・右折時前方よりの二輪車は思っているよりも早いことを忘れない。
- ・暴走族は通過させてから運行の開始を。

※危険予知し二輪車（オートバイ）は早い事を再度忘れない。

③ 高速道路内の事故防止

- ・夜間走行は特に速度・車間距離・適度な休息で運行。
- ・法定速度の厳守・適正な車間距離を保ちあせらない事。
- ・P.A や IC 付近での出入り車輛に対する防衛運転の徹底。
- ・P.A 内での他者の動向に充分注意を払う。
- ・料金所通過後の合流に細心注意をする。
- ・追い越し車線を長時間走行しない。

※この時期 P.A 内は混雑する（子供・高齢者の動向にも細心の注意をする）。

④ 車内事故防止の再徹底（シートベルト着用の推進）

- ・急ハンドル、急発進、急ブレーキ等の回避。
- ・出発時の着席確認。（車内マイクの案内実施）
- ・お客様にシートベルトの着用を促す。（車内マイクの案内実施）
- ・装備のシートベルトが必ず着用できるよう運行前に必ず点検する。

※車内マイクの活用にて案内をしよう。

⑤ 安全対策の再徹底

- ・駐車場、P.A 内では必ずエンジンを停止すること。
- ・駐停車時はサイドブレーキを確実に（無意識に操作しない）意識を持って。
- ・駐車場、P.A 内は必ず（輪止め）を実施する。輪留め取り外し確認
- ・傾斜を意識し危険予知を常に念頭に置くこと。

※基本操作を怠らない。意識をもって操作を実施すること。

⑥ 飲酒運転防止

機会あるごとに掲示・点呼指示等していますが、再度飲酒運転防止について記載します。

夏はバベキュー等飲酒の機会も増えます。飲酒運転は自分だけでなく会社、家族を崩壊させてしまいます。プロドライバーの一人ひとりが今一度しっかり認識し飲酒をしたら絶対に運転はしないと強い決意を持つことが大切です、社会や顧客の信頼に応えることが基盤そのものであることを再度認識してください。

⑦ 交差点の事故防止

- ・ 青信号でももしもに備えた安全速度で進入通過すること。
- ・ 見通しの悪い交差点では特に速度を落として通過する。
- ・ 黄色信号通過時は歩行者、自転車のフライングに注意すること。
- ・ 黄色信号は無理して通過しないよう。
- ・ 赤信号でのつ込みはプロの恥。

※交差点では何があるかわからない。

⑧ 車庫内での車両の格納

- ・ **車庫内では必ず輪留めをかける事。**
- ・ **洗車時にも必ず輪留めをかける事。**